

# 大空衛

第81号



一般  
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

〔目 次〕

巻頭言 (古新亮英会長) ……………	1	4団体協議会を開催 ……………	17
第44回 定時総会を開催 ……………	2	告知板 (賛助会員募集・行事予定) ……………	19
平成29年度 事業計画 ……………	5	城口副会長が大阪府知事表彰受賞……………	20
平成29年度 理事業務分担 ……………	6	優秀建設施工者 大阪府知事表彰……………	20
専門委員・青年部会の紹介……………	7	9月に管工機材・設備総合展 ……………	21
新入社員研修を実施……………	8	都市再開発・建設プロジェクト進展中……………	22
日空衛 第69回通常総会を開催 ……………	12	ニュースフラッシュ……………	25
日空衛「人材ビジョン」……………	13	電気/給排水/空調設備講習会のご案内……………	28
日空衛 近畿支部会を開催 ……………	15	暑中ご挨拶(会員一同)……………	30
青年部会 日本赤十字社に寄付 ……………	16	編集後記……………	32

(表紙写真)

**大阪国際がんセンター** (大阪市中央区大手町)

2014年6月から建設工事が進められていた「大阪国際がんセンター」(旧大阪府立成人病センター)が今春完成、業務を開始した。地方独立行政法人大阪府立病院機構がPFIで計画し、設計監理・施工・維持管理・利便サービスを担う大阪メディカルサポートPFIが建設したプロジェクトで、地上13階(地下2階)、延べ床面積約6万8300㎡を誇る、がん診療連携拠点病院である。

竹中工務店は施工にさいし、建築工事だけでなく設備工事でも省人化・省力化施工を展開して現場作業を縮減、予定通りの工期で竣工させたという。センターでは「一人でも多くの患者さまに高度な医療を」を合言葉に診療業務の効率化を行っており、在院日数を減らすことにより、長い入院まちの解消に努めているとしている。また、患者の生活の質(QOL)に配慮した治療にも積極的に取り組んでいる。

ご

挨拶

拶



会 長 古 新 亮 英

会員・賛助会員の皆様には、当協会の活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成29年度の日本経済は、昨年に引続き雇用・所得環境の改善傾向等を背景に緩やかな景気回復の動きが続いています。建設投資についても政府の経済対策による公共工事投資が見込まれ、民間工事も底堅い投資により緩やかな拡大基調にあると思われま

す。さて、関西における空調衛生工事業界においては、東京オリンピックを控えた首都圏に比較すると、半導体製造装置・データセンターなどの民間需要に支えられ概ね堅調に推移しています。中期的には、大阪万博やIR(総合型リゾート)誘致といったビッグプロジェクトの可能性にも期待をしたいと思います。

こうした中、年度末には、政府による「働き方改革実行計画」が策定されました。今後は、「残業時間の抑制」「週休2日の実現」に向け、当協会は関連団体と連携して「適正価格での発注」「適正な工期設定」「工期の平準化」を重要な課題として促え、発注者に理解と協力を訴えていきたいと考えます。更に、「生産性の向上」の手段として「BIM」や「ICT」活用にチャレンジすることも併せて考えていきたいと思

います。一方、若年労働者の減少、技能者の高齢化が顕著となり、担い手の確保、育成が喫緊の課題でもあります。若年労働者の入職促進のためには、適正な賃金確保や労働環境の改善を促進させる必要があります。当協会として、設備工事業を担う人材育成の一環として主催しています『配管技能コンテスト』は今年で第9回目を迎えます。将来の技能工育成、人材確保が図られるよう、関係団体や工業学校とも連携しながら更に充実させてまいります。

女性技術者の活用においては一過性のものとせず、中・長期的に建設業全体で持続させていくために、女性活躍をサポートする仕組みを関連団体とも連携し、裾野を広げていく取り組みをしたいと考えています。

空調衛生工事業界に課せられた社会的使命であります『低炭素社会づくりへの取り組み』を一層推進させる必要があります。そのためには、省エネ提案力・再生可能エネルギー導入提案力、そして、更に高度な技術が求められるZEB(ネット・ゼロ・エネルギー)に対する提案力を充実、促進させる責務を背負っているものと考えます。これからも日空衛と連携し、空調衛生工事業が社会貢献の重要な事業であることの魅力を積極的に発信してまいります。

当協会は、『社会貢献に取り組むとともに、会員のためになる団体運営』を目指し、設備工事業界の発展に尽力してまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員・賛助会員各位の益々のご発展とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。

## 第44回定時総会開催

# 業界の向上めざし多彩な事業に取り組む 29年度の事業計画・予算など決定



一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会第44回定時総会は5月16日（火）、大阪市中之島のリーガロイヤルホテルで開催した。平成28年度決算報告をはじめ、公益目的事業（配管技能コンテスト、大阪配管高等訓練校への助成、新入社員研修、安全衛生大会）の実施報告、平成29年度事業計画が承認された。

総会は定刻の午後3時30分に専務理事林寿二の司会で始まり、出席者数72名（委任状提出者数含む）が定款第20条に規定する定足数を満たしているため、本総会が有効に成立していることを報告した。次いで、挨拶に立った古新亮英会長は、国土交通省が設計労務単価の引き上げを行い、地方

自治体に対し新労務単価の早期活用やインフレスライド条項の適用などを要請していることに触れ、「当協会としても、生産性を高めながら現場力を維持するための適正な請負代金、適正な工期で契約締結することが請負者の責務であることを国や自治体に要望していく」と述べた。さらに、古新会長は、空調衛生工事業での技術者・技能者の高齢化、後継者の不足に対応し、「女性技術者など入職者の拡大を図ることが大きな課題となっている中、社会保険の加入を含む処遇の改善、適正な工期による長時間労働の是正、休日の確保といった労働環境の改善を図るとともに、空調衛生工事業の誇りと魅力発信に努めていく」と決意を示した。



挨拶する古新会長

定款により、古新会長が議長に就任し、古新議長は定款第26条2の規定に基づき議事録署名人として下記の両名を指名し、会員に諮ったところ全員異議なく了承したので、両名を議事録署名人に指名した。

議事録署名人 田邊 宣孝  
同 荻本 繁明

両名はこれを承諾した。

続いて、古新議長は提案の議案内容の説明について、議事進行の都合上、議事次第の順序を次のとおり一部変更したい旨申し出た。

第1号議案「平成28年度 事業報告の件」と第4号議案「平成29年度 事業計画（案）の件」を委員会ごとに説明し、次に第2号議案「平成28年度 決算報告の件」、第3号議案「平成28年度公益目的事業支出計画実施報告の件」、第5号議案「平成29年度 収支予算（案）の件」は事務局より一括して説明を行い、その後、監事から監査報告を行った後に、議案ごとに順次諮っていきたい。

以上について、議長が会員に諮ったところ全員異議なく了承された。

## 議事審議の経過と結果

第1号議案「平成28年度事業報告の件」

第4号議案「平成29年度事業計画（案）の件」

各委員会の担当理事が議案書に基づいて事業報告の件、事業計画（案）の件をそれぞれ説明した。

総務委員会 理事 前田 隆司

経営委員会 理事 塩谷 眞富

広報委員会 理事 木村 之彦

技術委員会 理事 中尾 弘昭

労務委員会 理事 若林 尚史

第2号議案「平成28年度決算報告の件」

第3号議案「平成28年度公益目的事業支出計画実施報告の件」

第5号議案「平成29年度収支予算（案）の件」

専務理事 林 寿二は議案書に基づいて第2号議案、第3号議案、第5号議案を説明した。

平成28年度一般事業正味財産増減計算書に基づく決算報告は

経常収益	計	43,510,321円
経常費用	計	35,357,892円
当期正味財産増減額	計	9,672,829円
正味財産期末残高	計	37,760,039円

となる旨を報告した。

次に、平成28年度公益目的事業正味財産増減計算書に基づく決算報告は、

経常費用	計	10,600,716円
一般正味財産期首残高	計	9,131,369円
一般正味財産期末残高	計	△1,469,347円

となる旨を報告した。なお、この一般正味財産期末残高の△1,469,347円については、一般事業正味財産期末残高の37,760,039円から充当することとし、その結果が当期正味財産合計の36,290,692円となる旨を報告した。

次に、平成29年度収支予算（案）について、経常収益計は42,193,000円を、経常費用計は46,833,156円を計上した旨を説明した。



懇親会では活発な交流が繰り広げられた



### 「会計監査報告」

監事 生島 清好は平成28年度決算報告について会計に関する帳簿等関係書類を監査の結果、適正に処理されていることを認める旨を報告した。

古新議長は、前もって承認を得たとおり、第1号議案から第5号議案までを順次会員に諮ったところ、すべて全員異議なく承認された。

#### 第6号議案「役員補欠選任の件」

古新議長は、当協会の理事に就任している白石文登、塩谷 眞富、森内 啓治及び監事に就任している樽本 和芳の4名が企業における人事異動により、それぞれ理事及び監事を辞任されるため、定款第28条及び第31条の規定により、理事3名及び監事1名の補欠選任を会員に諮った。

理事及び監事の選任方法について議長に一任されたので、古新議長は理事に平田 順一、北村広外志、福原 保豊の3名、監事に東 琢を選任することを会員に諮ったところ全員異議なく承認された。

以上で、第44回定時総会の議事がすべて終了したので、古新議長は午後4時20分、閉会を宣言した。

総会終了後、臨時理事会が開催され、理事の業務分担（6ページに掲載）が決められた。

この後、午後5時から、会員及び賛助会員が参加して懇親会を山楽の間で盛大に開催し、参加者の活発な交流が行われ、午後6時30分、散会した。

# 平成29年度 **事業計画**

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

## 総務に関する事業

1. 総会及び新年交礼会等の開催
2. 叙勲、褒章並びに大臣表彰等の受賞候補、技能功労者等受賞候補者の推薦を行う
3. 会員従業員の福利厚生面の充実を図るため、スポーツ大会や各種行事を行う
4. 他の部門に属さない事業の運営を図る

## 経営に関する事業

1. 公共工事の直接発注の拡大促進を図る
2. 事業推進のため、諸官庁との「懇談会」の開催及び関係機関に対し建議陳情を行う
3. (一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会長会議及び近畿支部会を開催し、情報や意見交換を通じて連携を深める
4. 賛助会員との交流を実施する
5. 建設業団体との交流を通じて情報交換や協力関係を図る
6. 配管、ダクト、保温保冷の三団体との連携を図る
7. 青年部会により協会活動の活性化を図る
8. 青年部会による研修会を実施する
9. 社会貢献として募金活動及び清掃活動を実施する

## 広報に関する事業

1. 機関誌「大空衛」を年2回発行する
2. ホームページの更新・充実により、情報発信を強化する

## 技術に関する事業

1. 技術者の資質の向上を図るため関係団体と協力し、各種研修会を行う
2. 衛生設備や空調設備の調査・研究、技術ニュースを発行する
3. 登録配管基幹技能者講習、登録ダクト基幹技能者講習の運営に協力する
4. 技能者養成及び未来の技能者育成を目指し、配管工、高校生・専門学校生を対象に、第9回配管技能コンテストを実施する
5. 配管技能検定試験の実技試験関係運営事務を行う

## 労務に関する事業

1. 労働災害防止及び労働安全衛生の意識高揚を図り、災害ゼロの明るい職場づくりを進める安全衛生大会を開催し、無災害の優良工事現場の表彰を行う
2. 労働災害の防止を目的に、安全管理活動の促進を図るため安全パトロールを行う
3. 大阪配管高等職業訓練校への助成を行う
4. (一社)大阪電業協会と合同で新入社員研修会を行う

## 理事業務分担

平成 29 年 5 月  
(一社)大阪空気調和衛生工業協会

会 長	古 新 亮 英	ダイダン株式会社大阪本社
副 会 長 総務・経営担当	近 藤 徹	不二熱学工業株式会社
” 広報担当	城 口 俊 雄	株式会社大阪城口研究所
” 技術・労務担当	白 木 博 之	三機工業株式会社関西支社
<hr/>		
1. 総務委員会		
委 員 長	前 田 隆 司	株式会社前田商会
副委員長	※平 田 順 一	東洋熱工業株式会社大阪支店
委 員	蓮 井 正 昭	鳳工業株式会社
<hr/>		
2. 経営委員会		
委 員 長	※北 村 広外 志	ダイダン株式会社大阪本社
副委員長	安 原 和 利	株式会社精 研
委 員	星 野 宏 一	株式会社テクノ菱和大阪支店
<hr/>		
3. 広報委員会		
委 員 長	木 村 之 彦	木村工業株式会社
副委員長	下 田 敬 介	日比谷総合設備株式会社関西支店
委 員	中 村 淳 一	ダイクウ株式会社
<hr/>		
4. 技術委員会		
委 員 長	中 尾 弘 昭	株式会社朝日工業社大阪支社
副委員長	田 辺 宣 孝	三建設備工業株式会社大阪支店
委 員	植 野 壮 二	高砂熱学工業株式会社大阪支店
”	佐々木 賢 治	新菱冷熱工業株式会社大阪支社
<hr/>		
5. 労務委員会		
委 員 長	若 林 尚 史	若林設備工業株式会社
副委員長	※福 原 保 豊	須賀工業株式会社大阪支社
委 員	福 地 文 雄	柳生設備株式会社
”	伊 藤 雅 基	新日本空調株式会社大阪支店
<hr/>		
専務理事	林 寿 二	(一社)大阪空気調和衛生工業協会
監 事	生 島 清 好	株式会社三冷社西日本支社
”	※東 琢	大阪ガス株式会社

(※新任理事・監事)



## 平成29年度 専門委員の紹介

### 安全労務専門委員

○安全パトロール ○安全衛生大会の企画・運営	新原 辰美 (新日本空調(株)大阪支店)	辻 高司 (日比谷総合設備(株)関西支店)
	宮地 直人 ((株)朝日工業社大阪支社)	堤 英治 (須賀工業(株)大阪支社)
	稲岡 栄治 (三機工業(株)関西支社)	

### 技術専門委員

○空調部会・衛生部会に分かれ、技術ニュースを発行	(空調部会)	新子 敦弘 (ダイダ(株)大阪本社)	横田 和久 (三機工業(株)関西支社)
		佐々木 直樹 ((株)朝日工業社大阪支社)	鹿子島 修 (高砂熱学工業(株)大阪支店)
		岩見 康秀 (新菱冷熱工業(株)大阪支社)	
	(衛生部会)	杉田 英人 (須賀工業(株)大阪支社)	小倉 一浩 (大阪府立布施工科高等学校)
		森嶋 章浩 ((株)西原衛生工業所大阪本店)	新保 東輝彦 ((株)朝日工業社大阪支社)
		瀧口 佳典 (三機工業(株)関西支社)	原田 総一郎 (大阪工業技術専門学校)

### 広報専門委員

○ホームページ管理、 機関誌「大空衛」の発行	諸藤 亮 (株)精研
	村馬 弘考 (日比谷総合設備(株)関西支店)

### 経営専門委員

○経営委員会活動の サポート、府下市町村へ 直接発注の陳情等	溝畑 貴也 (株)精研
	長元 伸吾 (ダイダ(株)大阪本社)
	石原 真典 (株)テクノ菱和(株)大阪支店)

## 平成29年度 青年部会の紹介

会員 22 名

会長 中山 裕章 (不二熱学工業(株))		
副会長 長元 伸吾 (ダイダ(株))		副会長 植田 篤史 (鳳工業(株))
総務委員会	委員長 川崎 和徳 (須賀工業(株))	定時総会、安全衛生大会、新年交礼会の運営、 青年部会(懇親会)、研修会(会員・青年部会向け)
交流委員会	委員長 建部 浩文 (三機工業(株))	ポウリング大会、野球大会の運営、レクリエーション活動
福祉委員会	委員長 秋田 裕史 (大成温調(株))	募金活動を行い日赤等へ寄付

# 新入社員研修を実施

実践に役立つ幅広い知識習得



当協会は、今年度も（一社）大阪電業協会と合同で新入社員研修会を開催しました。

講師は両協会所属会社の経営者や経験豊富な熟練社員、入社数年の社員が担当しました。講義内容は、社会人に求められる基本姿勢からビジネスマナー、営業の方法、安全知識、熟練社員の体験談まで幅広い分野に及び、研修会に参加された皆様は、諸先輩が語る明日から即実践できる講義に熱心に聞き入っていました。

業務ご多忙の中、講師としてご協力くださいました皆様に厚くお礼申し上げます。

開催日時 平成29年4月4日（火）5日（水）

両日のうち1日受講

9：00～：17：00

会場 電設健保センター

受講者数 182名（うち当協会9社・45名）

◇◇◇当協会からの講師（敬称略）◇◇◇◇◇◇

【経営者による講話】

（社会人としての基本他）

三建設備工業㈱大阪支店

執行役員支店長 田辺 宣孝

【3～5年目社員の講話】

高砂熱学工業㈱大阪支店

技術2部 松崎 陽

【営業に関する講話】

（他業種営業職との違い他）

齋久工業㈱大阪本社

営業部 山岡 徹也

【工事熟練社員の講話】

（現場体験談他）

新菱冷熱工業㈱大阪支店

技術部2部 望月 知之



## 平成29年度 新入社員研修会 プログラム

(電)：大阪電業協会 担当

(空)：大阪空気調和衛生工業協会 担当

No	項目	時間	講師	
			4日(火)	5日(水)
1	開講挨拶	9:00～	(電) ㈱クリハラント	(空) 協会専務理事
		9:15	嶋田 雅景	林 寿二
	スケジュール・受講上の注意事項		事務局	事務局
2	社会人が求められる意識と行動	9:15～	(電) 住友電設㈱	(電) 住友電設㈱
	・社会人への第一歩 ・会社生活とは	10:15	人事部主管	人事部主管
	・意欲的な仕事の進め方		秋田 好之	秋田 好之
	・人間関係とコミュニケーション			
3	ビジネスマナー	10:15～	(電) 住友電設㈱	(電) 住友電設㈱
	・身だしなみ・会社生活の一日・聞き方、話し方	11:00	人事部主管	人事部主管
	・敬語、言葉遣い・電話対応・報、連、相		秋田 好之	秋田 好之
	・訪問マナー ・弔事マナー			
4	経営者による講話	11:00～	(電) 栗原工業㈱	(空) 三建設備工業㈱
	・社会人としての心構え、建設業の魅力他	12:00	西日本営業本部 常務取締役本部長	大阪支店 執行役員大阪支店長
	・会社・技術力・人材他		横井 正温	田辺 宜孝
	昼 食	12:00～ 13:00		
5	3～5年目社員の講話	13:00～	(電) ㈱クリハラント	(空) 高砂熱学工業㈱
	・災害はどうして発生するのか？他	13:30	電設工事部	大阪支店
			中嶋 拓未	技術2部技術1課 松崎 陽
6	営業に関する講話	13:30～	(電) 住友電設㈱	(空) 斎久工業㈱
	・建設業における営業職と一般的な営業職との違い	14:00	営業本部主任	大阪支社
	・普段の実務について		山口 統也	営業部営業課
	・新入社員に期待する事			山岡 徹也
7	安全に関する講話	14:00～	(電) ㈱クリハラント	(電) ㈱クリハラント
		14:45	安全管理部 安全管理グループ長	安全管理部 安全管理グループ長
			佐々木 浩一	佐々木 浩一
8	ビデオ鑑賞	14:45～	事務局	事務局
	・仕事・人生の夢を語ろう！武田鉄矢	15:15		
	新入社員に贈る言葉			
9	工事に関する熟練社員の体験談	15:15～	(電) ㈱中電工大阪本部	(空) 新菱冷熱工業㈱
	・現場代理人とは	16:00	屋内電気工事課課長	大阪支社
	・現場体験談		長岡 史浩	技術2部技術1課 課長
	・仕事を通しての人生の出会い			望月 知之
10	報告書の作成	16:00～	事務局	事務局
		17:00		
		7時間		

## 低炭素社会の牽引役として使命に邁進

### 新会長に長谷川勉氏を選任

日本空調衛生工事業協会（日空衛）は5月31日、東京都千代田区の帝国ホテルで第69回通常総会を開催し、昨年策定した中期ビジョンを基本に「法令遵守」「低炭素社会づくり」「人材育成」「適正価格受注」「直接発注」などを盛り込んだ平成29年度業界実践スローガンを決議し、これに沿って活発に協会事業を展開していくことを確認した。

また、任期満了に伴い役員改選を行い、長谷川勉氏（三機工業代表取締役社長）を新会長に選任した。

今総会をもって退任した野村春紀会長は冒頭挨拶で、引き続き人材の確保・育成が中長期的な重

要課題であることを強調するとともに、政府が3月末策定した『働き方改革実行計画』の『長時間労働の是正』について、課題解決やリスクへの対応に関して「空調衛生工事業業界のみならず、ゼネコンや民間発注者などを含めた社会全般の周知、理解が必要であることから、日空衛としてしっかり対応していく」と述べた。

平成28年度事業報告・決算報告に続いて、平成29年度の事業計画・予算を決定した。今年度も平成26年度に採択した「行動宣言」に基づき、継続してコンプライアンスに係る取り組みを行い、空調衛生工事業界の社会的責任を果たしてい



新会長に選任された長谷川氏



業界功労者の表彰



壇上で紹介される新役員

くこととした。

また、人材面については、人材確保・育成特別委員会が一昨年度とりまとめた「日空衛人材ビジョン」や業界PRビデオおよびパンフレットなどを活用して人材確保・育成の推進に注力することを申し合わせた。社会保険加入対策や「建設キャリアアップシステム」などの国の政策については的確に対応し、空調衛生工業としての取り組みを図ることとした。

一方、低炭素社会づくりの先導役としての空調衛生工業界の実績、独自性や重要性を官民双方の発注者などに積極的に分かりやすくアピールしていくことも確認した。

さらに、直接（分離）発注、休日の確保を含む適正な工期の設定などについては、空調衛生工業界の立場が発注に反映されるよう努めるほか、発注者などに対しその必要性を働きかけ、関係団体と協調してそれを実現していくこととした。

このあと、平成 29 年度業界実践スローガンを原案どおり決議した。実践スローガンは昨年度と同様の内容だが、3 項目目の「人材の確保・育成」について、働き甲斐のある魅力的な職場環境整備に努めることを盛り込み、それをより重く捉えて積極的に取り組んでいく姿勢を示した。

役員選任では、任期満了に伴い全役員が改選され、新会長に長谷川勉氏、新副会長に芝一治氏と松井栄三氏を選任した（篠原直男副会長と森井省三副会長は再任）。大阪空気調和衛生工業協会関連では、昨年度総会で理事に新任された古新亮英氏が日空衛理事に再任され、近畿支部長および地方活性化委員会委員を委嘱された。

議事終了後、第 62 回業界功労者表彰式が行われ、特別功労者として今総会で退任した野村前会長、協会役員功労者として神田武、高橋薫、三輪容次郎、今福浩之の 4 氏、協会委員功労者として近藤保志、塩川克俊の 2 氏がそれぞれ表彰された。

総会のあと、懇親会を開催し、冒頭で長谷川新会長が改めて挨拶を行い、協会運営基盤の強化と会員社の経営支援、コンプライアンスの遵守、低炭素社会の牽引役としての協会発展、『働き方改革実行計画』を踏まえた労働環境改善と人材の確保・育成、適正価格・工期での受注など最重要課題として取り組んでいく決意を示した。

なお、総会に先立ち、空気調和・衛生工学会会長・奥宮正哉氏による「自然・未利用エネルギーを活用した豊かな街・建築を目指して」と題した講演会が開催された。



業界の発展を祈念して乾杯

—— 今年度の業界実践スローガン ——

われわれ空調衛生工事業は、快適空間の創出と地球環境の保全を担う産業としての誇りを持ち、優れた技術と品質の確保及び「顧客満足度の向上」を最大の目的として、市場環境変化に対応する経営改革に取り組むとともに、空調衛生工事業界のプレゼンスを高めるため、一致団結して次のスローガンの実践にあたろう。

- 1 法令の遵守と企業の社会的責任を果たす事業運営を徹底しよう
- 2 省エネルギー及び省CO<sub>2</sub> に積極的に取り組

み、低炭素社会づくりを通じて地球環境の保全を推進しよう

- 3 働きがいのある魅力的な職場環境整備を進め、未来を担う男女の技術者・技能者の確保・育成に努めよう
- 4 適正な価格・工期での受注と生産性の向上を推進し、品質・安全と適正な施工体制の確保に努めよう
- 5 空調衛生設備の重要性と「直接発注（分離発注）」を強くアピールし、「機械設備一式工事」または「空調衛生工事」の実現を目指そう

## 「日空衛 人材ビジョン」の概要

### 人材確保・育成の必要性と課題

#### 〈若年層技術者〉

- ◇今後20年で、20歳台の人口は20%減少。建設業就労者は過去15年間で入職率が60%減少。厳しい環境での人材確保が求められる。
- ◇これからは、産業間あるいは建設業の業種間でも人材獲得競争が予想される。
- ◇若年層を現状並みにすら確保できないと、業界そのものが「少子高齢化」産業に陥る。

### 人材確保・育成の課題への対応

#### 「確保」

- ◇空調衛生工事業の魅力伝える。
- ◇労働環境の改善を図る。

#### 「育成」

- ◇育成手法を転換する。
- ◇技術力の習得、向上等の支援を行う。
- ◇労働環境の改善を図る。
- ◇メンタル面でのケアを行う。

- ◇女性技術者の採用を増やさないと、将来、技術者が不足する懸念。
- ◇能力を発揮できる職種は多数あり、働き方に合わせた支援により確保が可能。
- ◇女性の活躍は、組織に多様性をもたらし、活性化させるとともに、女性が働きやすい職場環境づくりは社員全員が働きやすい環境整備につながる。
- ◇採用希望者が少ない、ライフイベントがハンディキャップとなって定着率が低いなどの課題。

- ◇やりがいと活躍のチャンスがある業界であることを広く伝える。
- ◇結婚、出産、育児等のライフイベントがハンディキャップにならないよう環境整備を行う。
- ◇勤務時間の短縮や休日の確保等のワークライフバランスの整備で定着率の向上を図る。
- ◇区別のない採用、ポジティブアクションによる女性登用、キャリアパスの提示などによるモチベーションアップを図る。

### 〈高齢者〉

- ◇60歳から64歳までは再雇用制度などの下で既に活用が進むが、多様な職務の用意がない。
- ◇65歳以上については、まだ継続雇用は限定的。
- ◇今後、世代間のバランスに寄与する働き方が求められる。
- ◇健康、体力面での配慮の増大、企業側からみた人件費の増大、高年齢者側からみた給与減によるモチベーション低下などが課題。

- ◇これまで以上に若手の育成や技術の伝承の役割を担ってもらう。
- ◇より多様な業種、勤務形態での就業により、雇用機会の拡大を図る。
- ◇人事・給与制度の改定、モチベーション継続の方策などの条件整備を行う。
- ◇現場での安全管理、勤務時間等の弾力化などの年齢制約に対応した環境整備を図る。

### 〈外国人技術者〉

- ◇海外支店等の幹部候補、日本人技術者の不足への対応、企業内の多様性の確保などから期待。
- ◇言葉、習慣の違い、有している技術の活用方法などで手探りの部分が多い。

- ◇就業事例の公開などにより課題に関する情報の共有化を図り、全体として受け入れの下地を醸成する。

### 〈技能者〉

- ◇高齢化により既に技能者不足が顕在化し、若手技能者の入職確保は不可欠。
- ◇入職しても2～3年で約50%が離職する現状があり、定着のための対応も重要。
- ◇多くの熟練技能者の退職が見込まれる中で、若手に技能を伝承し、育成を図る必要がある。

- ◇イメージアップ戦略を実行し、空調衛生工事業を理解してもらう。
- ◇外国人技能者の受け入れを検討するなど入職者確保を図る。
- ◇賃金確保、休日の確保、キャリアパス提示などによる定着策を講ずる。
- ◇新規入職者へのOFF-JT教育、中堅・熟練技能者のスキルアップへの評価などを進める。



## 日空衛 近畿支部会を開催

# 人材確保・育成へ取り組み強化

日本空調衛生工事業協会(日空衛)の近畿支部(支部長古新亮英氏)は2月14日、大阪市中央区のシティプラザ大阪で平成28年度近畿支部会を開催し、社会保険未加入問題や人材確保・育成についての取り組みについて報告を行った。

機能が失われない設備提供に注力しようと呼びかけて大いに盛り上がった。また、12月には13回目となる近畿支部経営委員会主催の国交省近畿地方整備局営繕部との懇談会も開催し、公共工事発注の平準化と適正工期の確保、喫緊の課題である社



挨拶する古新支部長



支部会には本部、団体・企業会員ら42名が出席。古新近畿支部長は挨拶の中で昨年の支部活動を振り返り「日空衛全国会議が10月に神戸で開催され、全国から約350名が参集した。野村会長は、空調衛生事業は魅力にあふれ、誇りを持てる産業であるとアピールし、人材確保に取り組み、災害時に

会保険未加入問題、女性の活躍、長時間労働などについて活発に意見交換を行った。今後も会員の交流を積極的に行い、支部活動を先導していきたい」と述べ、協力を呼びかけた。

このあと、日空衛・中島義勝専務理事から「最近の日空衛の活動について」と題した報告が行われ、

社会保険未加入対策についての今年度の事業計画や建設キャリアアップシステム構築への取り組み、「日空衛人材ビジョン」の概要などについて

説明が行われた。

終了後、懇親会が催され、支部活動について忘たんのない意見を交換し合い親睦を図った。



日空衛の活動を報告する  
中島専務理事



懇親会を催して情報・意見交換

## 青年部会 日本赤十字社に10万円寄付



募金を手渡す塩谷理事(左)

な社会貢献活動として昨年は大阪マラソンコースの清掃奉仕を行った。また、日赤に協力いただきAEDを使用した救命処置技術を学ぶなど防災啓発活動も行い好評を得た。今後も継続し柔軟な発想でタイムリーな事業を行っていきたい。世界中で自然災害が多く発生しているが、この募金活動が少しでも役立つことを願っている」と述べ、塩谷理事から日赤の服部道代大阪府支部事務局長に募金を手渡された。

協会青年部会（中山裕章会長）は、協会行事や部会活動を通じて募った10万円を日本赤十字社に寄付した。

この日本赤十字社への募金活動は「何らかの活動を通じて社会に貢献したい」という青年部会の発案で行われているもので、今回で8度目。

3月3日午前10時半に中山会長ら青年部会員3名と協会の塩谷眞富理事(当時)が大阪市中央区の日本赤十字社大阪府支部を訪れて寄付した。

中山会長は「青年部では募金活動に加え、新た



日赤担当者(右2人)と懇談する塩谷理事(その左)、青年部会員

## 第24回／25回の4団体協議会を開催

### 「社保問題」「適切な賃金水準確保」

### 「働き方改革」などで意見・情報交換

当協会と関西配管工事業協同組合、近畿ダクト工事業協同組合、近畿保温保冷工業協会で構成する4団体協議会の第24回会合が3月22日に、第25回会合が7月24日に当協会事務局のある新トヤマビル3階会議室で開かれ、主要議題として建設業界の「社会保険未加入問題」「技能者の適切な賃金確保」「働き方改革」「工事従事者の安全・健康確保」などで意見・情報を交換しました。

#### 建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律が制定・施行（平成29年3月16日）

第24回会合には11名が出席。「社会保険未加入問題」については、「ゼネコンから現場入場の業者に社会保険に加入するよう指導はされているが、現実にどの程度加入しているかは把握していない模様で、サブコンも把握できていない」「スーパーゼネコンや中堅ゼネコンでは保険加入問題に厳しい姿勢で臨むと思われるが、そうでない中小ゼネコンもあって取り組みに温度差がかなりある」といった見方が示されました。

これに関連して、一部ゼネコンでは小規模業者に一人親方になって特別加入するような指導をしている状況や、一人親方になって特別加入する際、会社が資金を負担するというところもあるという事例が報告されました。また、「保険に加入しな

ければならないとなったら建築業を辞めるという業者もいる」「マンション中心のあるゼネコンの現場では一次下請は保険に加入しているが、それ以下はほとんど未加入業者の場合もあって、未加入者を現場から排除すれば工事は止まってしまう」という現場の厳しい実情も報告されました。

このほか、「国民健康保険、国民年金保険の原本を持ってきてもらってコピーを取っていても、その後は保険料を支払っているかどうかは把握できないので、加入・未加入の判断は難しい」「ゼネコン、サブコンでは直近の（各保険の）納付書を持ってくるよう指導しているところもある」など取り組みの難しさが報告されました。

「技能労働者への適切な賃金水準の確保」については、事務局より国土交通省から建設業団体へ届いた（技能労働者への適切な賃金水準の確保）の説明が行われ、それに関連して、平成24年度の労務単価と今年3月適用の新労務単価を比べると、全業種の全国平均で39.3%（被災3県では平均55.3%）上昇し、配管工は全国平均約27%、ダクト工は同約32%、保温工は同約36%それぞれ上昇したことが報告されました。情報交換では、「建設労働者が受け取る賃金をもとに設定している公共工事設計労務単価が労働者の雇用に伴い必要な賃金以外の経費を含んだ金額と誤解され、必要経費分の値引きを強いられる結果、技能労働者に支払われる賃金が低く抑えられている」と指摘する意見もあがりました。

「建設工事従事者の安全及び健康の確保」については、その推進に関する法律（目的、基本理念、基本計画など）が事務局から説明され、「今後、どのような施策を実施していくのか注目したい」「今までこのような法律がなかったことが不思議だが、法律として制定されたことはよかった」という意見が大勢を占めました。



第24回会合

## 大手ゼネコンは「グリーンサイトシステム」で 保険加入の有無を迅速に把握

第25回会合には10名が出席。「社会保険未加入問題」については、大手ゼネコンなどで〈グリーンサイトシステム〉の利用が広がっていることから下請業者の保険加入の状況がよりはっきり把握できる状態になりつつある現状が報告されました。〈グリーンサイトシステム〉とは、建設業界の労務・安全衛生に関する管理書類(通称グリーンファイル)をインターネットで簡単に作成・提出・確認できるサービスです。このサイトを利用すると、保険加入に関する指導の履歴をシステム上に残すことができます。ゼネコンはこれによって協力企業・下請企業の保険加入状況を把握し、加入促進に結びつけようとしているようです。サブコンでもこうしたゼネコンに対応して〈グリーンサイトシステム〉を導入する動きが出ています。

また、一部の大手ゼネコンでは、4次下請を全国平均で10%以内に抑えようとする動きがあることが報告されました。将来的には4次下請をなくし、3次下請までにして保険未加入問題に対応しようとする動きとみられています。

しかし、設備関係業界の実情に照らしてみると、ゼネコンが4次下請を大幅にカットすれば現場がストップするのは目にみえていることから、ゼネコンからみて4次下請に当たる業者に対してサブコンが直接発注をして、ゼネコンからは3次下請になる形態にする動きが出てくることも考えられます。ただ、この場合は、サブコンは取引先が増えて手間やコストの増大が危惧されます。4団体としては、こうした動向を注視していくこととしました。

「働き方改革」では、建設業関連について今年3月に決定された国土交通省の〈働き方改革実行計画〉が事務局から説明されたあと、情報交換しました。この中では、配管・ダクト・保温保冷の技能者の労働実態から〈働き方改革〉にはかなり困難な問題をはらんでいることがクローズアップされました。その一つは、この3職種の技能者は月



第25回会合

給制、日給月給制、請負制などが混在し、一般社会の月給制労働者のような「休日増」「残業削減」「労働時間短縮」を一様に期待・歓迎することがないことです。日給月給制の技能者からは「休日が少なくてもとにかく稼ぎたい」という要望を持つ人たちが数多い状況が報告され、「休日を増やすには賃金水準を上げなければいけない」などの声が出されました。

一方、技能者不足の工事現場の現況から「週休2日は極めて難しい」「週休2日のローテーションを組める人数を確保できる状況にはない」「日曜日にも出てもらっている実情なので休日増など考えられない」などの厳しい現状も報告されました。

「建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画」については、工事現場の労働災害により尊い命が失われていることを重く受け止め、労災撲滅に向けて認識、取り組みを強化していくことなどを確認しました。この中では「適切な工期設定現場が少ない」「突発的な変更への厳しい対応」「昨今、現場内でのメール件数が増え、その処理に追われる」などの声があり、こうした建設業の体制的な問題の解決なしでは安全・健康の確保も進展しないといった見方が示されました。

このほか、関西配管工事業協同組合から、組合として災害時に対応するため、BCP（事業継続計画）の素案を年内に作成し、組合員に提示したいとの説明がありました。また、組合員間の相互扶助を目的として、「助け合いネット」を開発し、現在、20社程度が利用しているとの報告がありました。

# 告知板

## ○賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは変化・拡大しております。特に「環境問題」という新たな分野への取り組みは当協会と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。このような状況を踏まえ当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員にご入会されますと、当協会において技術開発、製品開発の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額 4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入(4,000円×3月までの月数)。

以後は年額(48,000円)を上半期と下半期に分け、上半期は6月末、下半期は12月末に納入。

入会手続 協会事務局までご連絡ください。入会申込書を送付いたします。

## ○今後の行事予定

開催日	行 事	場 所
8月19日	第9回配管技能コンテスト	大阪府立東大阪高等職業技術専門校
9月12日	青年部会研修会	エル・おおさか
10月4日	安全衛生大会	建設交流館
10月17～19日	野球大会	舞洲運動広場
11月22日	大空会ゴルフ大会	飛鳥カンツリー倶楽部
11月29日	ボウリング大会	桜橋ボウル
30年1月9日	新年交礼会	スイスホテル南海大阪
30年2月20日	(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会	シティプラザ大阪

## 憲法施行記念表彰式

### 協会・城口副会長が大阪府知事表彰

善行者と産業・福祉衛生・教育など各界功労者・団体を表彰する「憲法施行記念式並びに表彰式」が5月8日、大阪市北区の大阪国際会議場（グランキューブ大阪）で行われました。

松井一郎大阪府知事の式辞と日本国憲法前文の朗読、来賓祝辞に続いて大阪府知事表彰式に移り、16の団体と個人399名が表彰され、当協会の城口俊雄副会長（大阪城口研究所社長）が産業功労者の建設関係の部で大阪府知事表彰を受けました。



大阪府知事表彰を受賞した城口副会長



憲法施行記念式並びに表彰式

### 「優秀建設施工者」大阪府知事表彰

## 協会推薦の2氏が受賞

大阪府の平成28年度「優秀建設施工者」表彰式が2月9日に大阪府庁で行われ、21名（熟練工部門13名・青年部門8名）が知事表彰を受け、当協会推薦の2人が受賞しました。

同表彰は、平成6年度から行われているもので、当協会、大阪建設業協会などの建設関連団体が配管工、鉄筋工、左官工、大工、電気工など各職種の優秀施工者を推薦し、大阪府が表彰しているものです。式典では、大阪府知事表彰実行委員長の原眞一氏（大阪建設業協会副会長）が挨拶し、優れた技能を持つ模範の施工者としての受賞を祝い、建設業界のリーダーとして今後一層の活躍に期待を寄せました。

当協会から推薦した近畿保温保冷工業協会会員所属の永山利矢氏（永山断熱）と兵頭直繁氏（イケウチ）が表彰を受け、賞状・記念品が手渡されました。受賞者を代表して古林政裕氏（古林工務店）が謝辞を述べたあと、関係者を交えて受賞者の記念撮影が行われました。



優秀建設施工者表彰式

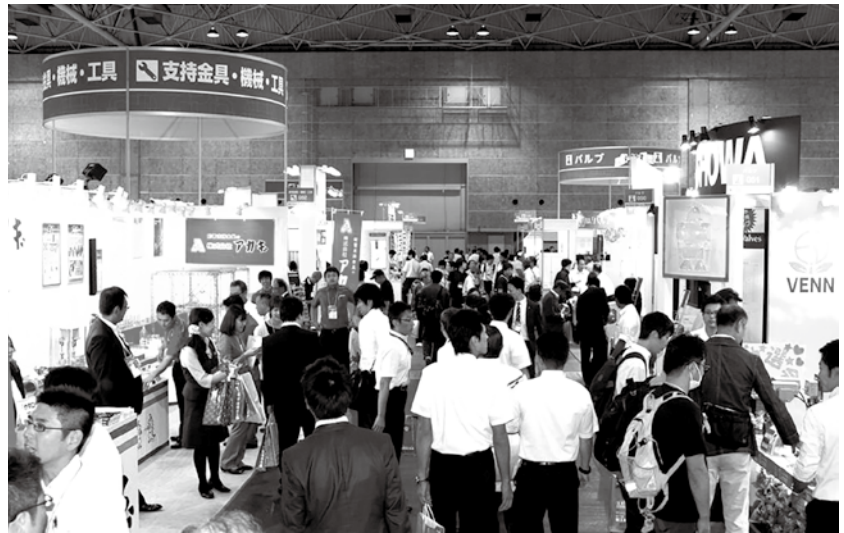


表彰された永山氏(左)と兵頭氏

## 協会後援の「管工機材・設備総合展」

9月7～9日にインテックス大阪で開催

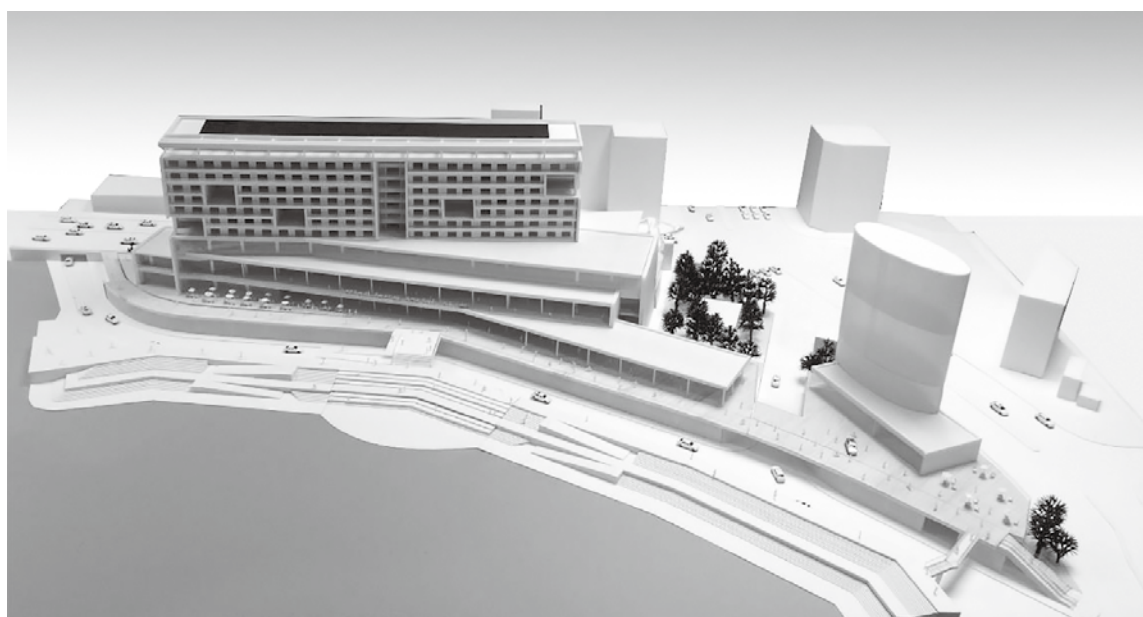
当協会が後援する関西管材・設備業界の一大イベント「第18回管工機材・設備総合展OSAKA 2017」(大阪管工機材商業協同組合主催)が9月7～9日の3日間、大阪・南港のインテックス大阪で開催されます。今回の出展は181(前回182)の企業・団体、小間数322(前回308)で、前回は上回る規模で開催されます。メインテーマは「体“管”実“管”管 動発信!」で、「次代をひらく流体テクノロジー」をサブテーマに掲げ、社会生活に貢献する管工機材・設備機器が果たす重要な役割と最新技術・製品が一堂に紹介されます。



前回展

## 都市再開発・建設プロジェクト進展中

### 堺では「大浜北町」の再開発が始動



堺市「大浜北町」再開発完成予想図

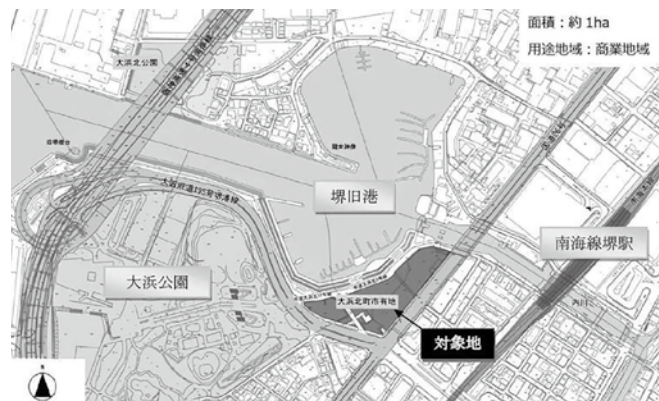
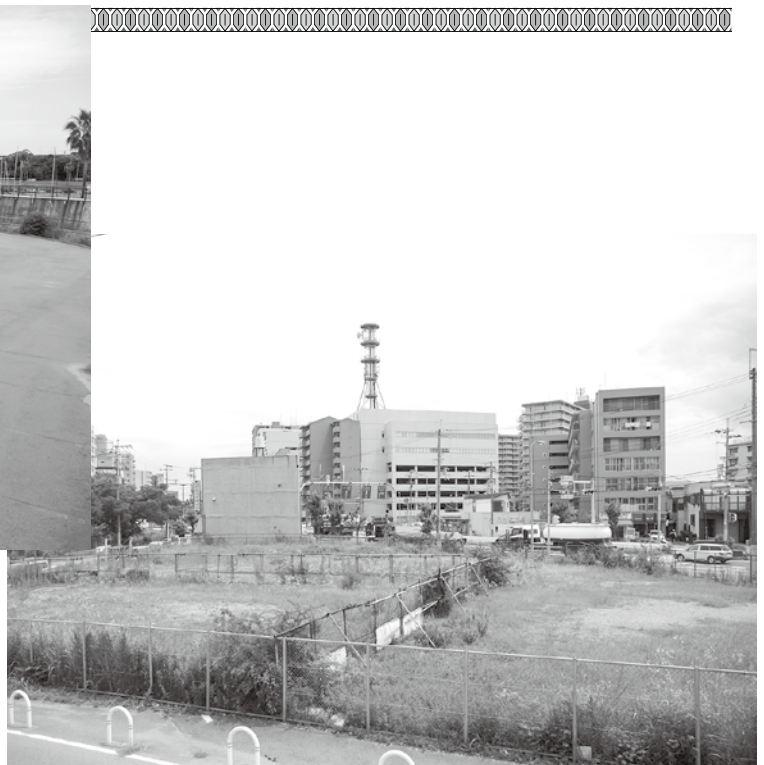
堺市はこのほど、「大浜北町市有地活用事業」の事業者公募プロポーザルでアゴーラ・ホスピタリティー・グループ（東京都港区）とタガミ（大阪府吹田市、設計）、堺土建（堺市西区、施工）でつくるJVを優先交渉権者に決めたと発表した。30年以上にわたり遊休地となっていた同市「大浜北町地区」の活用事業がいよいよ始まる。南海電車・堺駅西側、旧堺港に面した市有地にホテル運営の「アゴーラ・ホスピタリティー・グループ」が約270室のホテルを含む飲食・物販複合施設（アーバンリゾートタウン『ポルトマーレ（仮称）』）の建設を提案。2020年夏の開業をめざす。

一方、JR大阪駅を中心とするキタ界限では「梅田1丁目1番地計画（仮称）」（阪神百貨店が入居する大阪神ビルディングと新阪急ビルの建て替え計画）や駅北側の「うめきた」開発工事が順次進められ、ミナミでも大丸心齋橋本館建て替え工事が行われている。また、大阪市中央区の「オービック・大阪複合ビル（仮称）」（延べ床面積約5万5000㎡）の建設、郊外では豊中、吹田両市のニュータウンの建て替え事業などが本格化しようとしている。大阪では都心・郊外を問わず、大規模建設プロジェクトが着々と進展している。





広大な用地が広がる堺市大浜北町再開発予定地  
(上が用地A、右が用地B)



対象地は南海・堺駅の西側で旧堺港に臨む

### ◆◆堺市大浜北町市有地活用事業概要◆◆

ホテル・飲食・物販複合施設「アーバンリゾートタウン『ポルトマーレ』(仮称)」  
 地上12階(用地A) 高さ49.6m(用地A)、45.0m(用地B)  
 敷地面積 1万500㎡(用地A)、2080㎡(用地B)  
 建築面積 8110㎡(用地A)、1750㎡(用地B)  
 延べ床面積 3万4895㎡(用地A)、3840㎡(用地B)

建築主 アゴーラ・ホスピタリティー・グループ  
 設計 タガミ  
 施工 堺土建  
 開業 2020年夏頃予定  
 事業費 約130億円(民間施設の総事業費)  
 約7億3000万円(公共施設整備費)

## 【大阪の主要建設プロジェクト】

### ◇大丸心齋橋店本館建替計画

大阪市中央区心齋橋筋1丁目  
地上11階 延べ床面積6万6100㎡  
建築主 大丸松坂屋百貨店  
設計 竹中工務店大阪一級建築士事務所  
施工 竹中工務店大阪本店  
工期 17年1月～19年8月

### ◇梅田1丁目1番地計画ビル（仮称）

大阪市北区梅田1丁目  
地上38階 延べ床面積 25万9000㎡  
建築主 阪神電気鉄道、阪急電鉄  
設計 日本設計（基本設計） 竹中工務店（実地設計）  
施工 竹中工務店  
工期 I期竣工 2018年春予定  
II期着工 2018年春予定（建物解体工事） II期着工 2019年春予定（新築工事） 竣工 2021年秋（百貨店部分） 2022年春（オフィス部分）

### ◇御堂筋北久宝寺町4丁目プロジェクト（仮称）

（ホテル・店舗）  
大阪市中央区北久宝寺町  
地上21階 延べ床面積1万700㎡  
建築主 東京建物  
設計 鴻池組大阪本店一級建築士事務所  
施工 鴻池組  
工期 17年7月～19年2月

### ◇阪神NK共同ビル（仮称）（ホテル・店舗）

大阪市福島区福島  
地上12階 延べ床面積1万1200㎡  
建築主 阪神電気鉄道、JR西日本不動産開発  
設計 久米設計大阪支社  
工期 17年8月～18年12月

### ◇新日本橋ビル

大阪市浪速区日本橋  
地上15階 延べ床面積1万5600㎡  
建築主 NTT西日本  
設計 NTTファシリティーズ  
工期 17年1月～19年7月

### ◇ホテルモントレ梅田

大阪市北区曽根崎新地  
地上17階 延べ床面積1万3700㎡  
建築主 マルイト  
設計 鹿島建設  
施工 鹿島建設  
工期 16年12月～18年8月

### ◇JR西日本ホテル開発・芝田ホテル

大阪市北区芝田  
地上8階 延べ床面積1万4000㎡  
建築主 ジェイアール西日本ホテル開発  
設計 竹中工務店  
施工 竹中工務店  
工期 17年3月～18年3月

### ◇オービック・大阪複合ビル

大阪市中央区平野町  
地上25階 延べ床面積5万5000㎡  
建築主 オービック  
設計 鹿島建設  
施工 鹿島建設  
工期 17年5月～20年1月

### ◇新千里東町団地先行区

大阪府豊中市  
地上12階 延べ床面積2万6600㎡  
建築主 都市再生機構西日本支社  
設計 市浦ハウジング&プランニング  
工期 17年4月～

## 「なにわ筋線」の事業化本格始動 2031年春の開業めざす ——梅田から新今宮まで4駅新設——

大阪府、大阪市、JR西日本、南海電鉄、阪急電鉄の5者は、大阪・関西の成長に必要な鉄道ネットワークの強化に向け、「なにわ筋線」の早期事業化を進めていくことを明らかにした。

なにわ筋線の整備区間は、JRが北梅田～JR難波間で、途中に中之島、西本町の各駅（いずれも仮称）を設置。中之島駅は京阪電気鉄道中之島線の中之島駅付近、西本町駅は大阪市営地下鉄中央線との交差部付近に設けられる予定である。南海ルートは北梅田～南海新今宮間。このうち北梅田～西本町間はJRルートと線路を共用し、西本町駅の先でJRルートから分岐。JR難波・南海電鉄難波駅付近に南海新難波駅（仮称）を設け、さらに南下して新今宮駅で南海本線に接続する。

中間駅は、中之島駅、西本町駅、南海新難波駅の3駅で、総事業費（概算事業費）は約3300億円が見込まれている。事業スキームは、地下高速鉄道整備事業費補助による上下分離方式が想定されている。

整備主体は第3セクターで、営業主体および営業区間は、JR西日本がJR難波駅～北梅田駅、南海電鉄が南海新今宮駅～北梅田駅。開業目標は2031年春としている。

事業化に取り組む自治体、鉄道会社の5者は、なにわ筋線の整備効果や事業性をより一層高めるため、北梅田駅北側で阪急十三方面に分岐する路線（なにわ筋連絡線）について、国と連携しながら整備に向けた調査・検討を進めていく。

なにわ筋線は、新大阪駅から大阪駅北側にある梅田貨物駅跡の開発エリア（うめきた）などを経



由し、難波方面に抜ける新線で、関空アクセス列車の所要時間短縮、難波など大阪の中心市街地やうめきたの開発促進などのメリットが見込まれる。

新大阪駅からうめきたまでは、東海道本線貨物支線（梅田貨物線）を走る。梅田貨物線は現在、うめきた付近で連続立体交差事業（連立事業）による地下化工事が進められており、大阪駅の北側には北梅田駅が新設される。地下化と北梅田駅の開業は2023年春の予定。北梅田駅から先はなにわ筋の地下を通り、難波方面でJR西日本と南海電気鉄道の既設路線に接続。新大阪駅や大阪市の中心部から関空方面への短絡ルートを構成する。

## 93%の建設業者が社会保険加入

国土交通省がまとめた今年3月末時点の建設業者の社会保険等加入者は92.9%で、昨年9月末時

点から0.2ポイント増加した。

同省は2012年から建設業界の社会保険加入推進に本格的に取り組んでおり、今回は12年11月から16年3月末までの状況を取りまとめた。それによると、同期間に建設業許可担当部局が事業者から受けた建設業許可申請等のうち92.9%について事業者の社会保険等への加入を確認した。

今年3月末までに確認した申請等件数54万5079件のうち、総加入数は50万6511件（92.9%）。申請等の際、既に加入していた件数は48万3406件で、指導後加入した件数は2万3105件となっている。

### 公共工事従事企業では96%が保険加入

国土交通、農林水産両省は、公共事業労務費調査（昨年10月時点）に関連して実施した「公共工事に従事する建設企業、労働者の社会保険加入状況」調査結果を公表し、それによると、調査企業（約2万4000社）の3保険（雇用・健康・厚生年金）の加入率は96%（雇用98%、健康97%、年金97%）となり、国交省などが建設業の保険未加入問題に取り組みを開始した12年度直前の11年10月時点の84%から12ポイント上昇した。

労働者（調査対象約10万4000人）の3保険加入率は76%で、こちらも11年の57%から19ポイント上昇した。関西は京都59%、大阪54%、兵庫65%となっており、東北6県（福島以北）の平均82%、中国・四国9県の平均85%などと比べ、加入率の低さが目立つ。

配管、ダクト、保温の3職種での3保険加入率は、企業別で配管工が94%、ダクト工が92%、保温工が83%と、3業種とも全職種平均より低い。労働者別では配管工が93%、ダクト工が95%、保温工が82%と、保温工が低水準となっている。

### 8年後の空調機器市場は16年比22%増へ

総合マーケティングビジネスの富士経済は、冷媒規制が一段と強化されることにより新たな対応が必要となるヒートポンプ機器を中心に、空調・給湯機器の市場を調査し、報告書「ヒートポンプ温水・空調市場の現状と将来展望2017」としてまとめた。それによると、2025年の市場規模は、空調機器で16年比21.9%増の8兆8552億円、給湯機器で同18.6%増の1兆9250億円になる見通しとしている。

16年の空調機器市場は7兆2627億円。ルームエアコン、パッケージエアコン/ビル用マルチエアコンなどがけん引した。中国は需要の伸びが鈍化しつつあるものの、インドや東南アジアなど新興国の旺盛な需要が続き、25年の市場規模は16年比22%増が予測されとしている。一方の給湯機器市場は16年で1兆6234億円となった。住宅向け給湯機器が燃焼式では貯湯式から瞬間式へ、電気式では電気温水器からヒートポンプ式給湯機へ移行しており、熱源を問わず高効率機器への需要が高まっている。今後、住宅向け、業務・産業向けを問わず、需要の中心となる中国で中流層以上の需要を獲得していることや、欧州で省エネ機器導入推進の政策が行われていることもあり、ヒートポンプ機器の伸びが期待されるとしている。

### 超高層マンション建設・計画10万5千戸

全国で建設・計画されている超高層マンション（20階建て以上）は約10.6万戸あることが不動産経済研究所の調べでわかった。

同社の調査によると、2017年以降に完成を予定している超高層マンション（17年3月末現在）は285棟、10万6321戸で、1年前の前回調査（16年3月末時点）に比べ87棟・3万197戸増加した。

近畿圏は41棟・1万3249戸で、前回調査時に比べ4棟・1465戸の増加。うち大阪市内は24棟・8325戸（全国シェア8%）。



### 昨年度の設備工事受注0.8%減

国土交通省がまとめた2016年度の設備工事3業種（電気・管・計装工事の各主要20社）の受注額は、前年度比0.8%減と、盛り返した15年度（4.7%増）から再び低迷した。

「管工事」は0.1%増の1兆3579億円、7年連続の増加となった。官公庁管工事は0.5%減の1743億円と振るわなかったものの、主力の民間管工事が14年度（3.8%増）、15年度（3.9%増）に続き0.2%増の1兆1836億円と堅調に推移した。

「計装工事」は4.2%減の3266億円にとどまり、前年度までの5年連続の増加から減少に転じた。

官公庁計装工事は11.0%、民間計装工事は5.9%減となった。「電気工事」は0.8%減の1兆5472億円で、15年度（6.7%増）から再び減少した。官公庁電気工事は1.4%減、主力の民間電気工事も0.8%減と振るわなかった。

### 昨年度の建物リフォーム好調

国土交通省がまとめた2016年度の建築物リフォーム・リニューアル工事受注額は、前年度比31.6%増の15兆7177億円で、15年度（前年度比19.9%増）に続いて増加した。「住宅」関連工事（37.6%増）が15年度（同5%増）から伸び率を広げたほか、「非住宅」関連工事（28.5%増）も15年度（同25%増）に続き、好調に推移した。「管工事業」は住宅分野、非住宅分野とも受注件数は大幅に増えたものの、受注額は伸び悩んだ。

受注高（金額・件数）は元請としての工事受注と、各月の最初に受注した工事2件の個別工事内容を調査し推計したもので、16年度の受注額は、14年度（前年度比9.5%減）の不調から回復した15年度（同19.9%増）に続いて増加した。

「住宅」分野受注額は5兆5819億円で前年度比37.5%の増加となった。「非住宅」は10兆1358億円で28.5%増加した。

「住宅」分野で受注額上位2種をみると、「戸建て住宅」が2兆9112億円で85.3%増と大きく伸びた。「共同住宅」は2兆4413億円で5.6%増加となり、この2つが全体を牽引した。「非住宅」の主要建物では、「事務所」が1兆9520億円で42.5%増、「生産設備（工場・作業場）」が1兆9050億円で83.2%増といずれも好調、「飲食店・物販店舗」も1兆4068億円で10.3%増と堅調に推移した。

（一社）建築設備技術者協会 近畿支部主催

## 電気・給排水・空調設備講習会のご案内

CPD：単位6

一般社団法人建築設備技術者協会近畿支部では 2005 年度に若手技術者の建築設備実務教育の一環として建築設備概要のテキストを編集、毎年更新してきました。毎年このテキストの空気調和設備編を用いて「空気調和設備に関する実務教育講座」、給排水衛生設備編を用いて「給排水衛生設備に関する実務教育講座」、電気設備編を用いて「電気設備に関する実務教育講座」を実施しており、それぞれの設備に関わる実務者の方々のみならず、他分野の方々でも概要を勉強されたい方々に好評をいただいております。同協会では本年も同様のプログラムで講習会を企画されており、当一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会としましても他の団体とともに協賛する形で講習会に参画いたします。皆様方、奮ってご参加ください。

**主 催** （一社）建築設備技術者協会 近畿支部  
**協 賛** （公社）空気調和・衛生工学会 近畿支部  
（一社）電気設備学会 関西支部（予定）  
（一社）大阪空気調和衛生工業協会  
（一社）大阪府設備設計事務所協会（予定）

### ————— 電気設備に関する実務教育講座 —————

**開催日時** 2017年9月13日（水）9：30～16：30

**プログラム** 9：30～11：30 受変電設備、予備電源設備、避雷設備  
12：20～14：20 幹線設備、動力設備、照明・コンセント設備  
14：30～16：30 防災設備、情報・通信設備

**会 場** エル・おおさか（大阪府立労働センター）  
〒540-0031 大阪府中央区北浜東 3-14  
（地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ 300m）



————— 給排水衛生設備に関する実務教育講座 —————

**開催日時** 2017年10月19日(木) 9:30～16:30

**プログラム** 9:30～11:30 給水設備、給湯設備  
12:20～14:20 排水設備、排水処理設備  
14:30～16:30 衛生器具設備、消火設備、その他

**会場** エル・おおさか(大阪府立労働センター)  
〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14  
(地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m)

————— 空気調和設備に関する実務教育講座 —————

**開催日時** 2017年11月9日(木) 9:30～16:30

**プログラム** 9:30～11:30 空気線図、熱負荷、空調システム、省エネ  
12:20～14:20 熱源、空調機器、個別分散システム  
14:30～15:30 配管、ダクト、換気、排煙、防音防振  
15:30～16:30 自動制御

**会場** エル・おおさか(大阪府立労働センター)  
〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14  
(地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から西へ300m)



**定員** 各講座50名(定員に達し次第締め切ります)

**受講料** (テキスト共) 会員(当協会会員) 5,000円

**振込先** 三井住友銀行 梅田支店 (普) No.1707320  
(一社) 建築設備技術者協会 近畿支部

**申込方法** 受講申込書(HP上にもあります)に、氏名、年齢、勤務先名、所属部署、電話番号、FAX番号を記入の上、FAXまたはE-mail(inoue-a@tenor.ocn.ne.jp)にてお申込み下さい。  
(一社) 大阪空気調和衛生工業協会



2017年

# 暑中お見舞い申し上げます



一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員 (80社)

会社名	代表者氏名	会社名	代表者氏名
赤井設備工業(株)	上田 訓司	四國機械設備(株)	曾我 幸二
(株)朝日工業社大阪支社	中尾 弘昭	島設備工業(株)	井上 暎夫
(株)上杉工業	林 一也	主計管工(株)	中井 主蔵
浦安工業(株)大阪支店	八里 増樹	城陽ダイキン空調(株)	澄川 秀幸
(株)江坂設備工業	中村 昭一	(株)城口研究所関西支店	前田 史郎
エルゴテック(株)西日本支店	斎藤 達志	新日本空調(株)大阪支店	伊藤 雅基
オーディーエー(株)	織田 守彦	新菱冷熱工業(株)大阪支社	佐々木賢治
(株)大阪城口研究所	城口 俊雄	須賀工業(株)大阪支社	福原 保豊
鳳工業(株)	齊藤 久克	(株)精研	上野 俊信
奥田商工(株)	奥田 孝子	第一工業(株)大阪支店	高木 信幸
影近設備工業(株)大阪支店	影近 義之	第一設備工業(株)大阪支店	祝出 富弥
川崎設備工業(株)西部支社	小島 泰進	大貴設備(株)	田窪大五郎
川惣電機工業(株)	昆沙賀正道	(株)ダイキンアプライドシステムズ大阪支店	黒川淳一郎
川本工業(株)大阪支店	柴尾慎一郎	ダイクウ(株)	中村 淳一
木村工業(株)	木村 之彦	大晃設備(株)	樋上 雅一
協伸工業(株)	森岡 晟	大成温調(株)大阪支店	今井 康之
(株)共進社工業所	山内 昇平	大成設備(株)近畿支店	木本 一義
享和設備(株)	竹本 和正	ダイダン(株)大阪本社	古新 亮英
クウケン(株)	植野 教夫	大熱工業(株)	藪本 繁明
九櫻設備工業(株)	高安惣二郎	(株)大和商會	玉置 哲也
(株)クドウエンジニアリング	田浦 明敏	高砂熱学工業(株)大阪支店	植野 壮二
五建工業(株)大阪支店	安田 実	(株)タカネツ	高木 徳康
斎久工業(株)大阪支社	浅井 克巳	田丸産業(株)	堀田 高志
三機工業(株)関西支社	白木 博之	(株)テクノ菱和大阪支店	星野 宏一
三建設備工業(株)大阪支店	田辺 宣孝	東洋工業(株)	谷本賢太郎
(株)三晃空調大阪本店	文田 秀夫	東洋熱工業(株)大阪支店	平田 順一
三神工業(株)大阪支店	八坂 巖男	西川設備工業(株)	関田 一也
三宝電機(株)	井上 清人	(株)錦	三分一 誠
(株)三冷社西日本支社	生島 清好	(株)西原衛生工業所大阪本店	澤田 憲治
(株)JR西日本テクシア大阪支店	村上 茂夫	日建設備工業(株)	三井 正雄
敷島煖房工業(株)	土橋 誠二	(株)日設関西支店	古橋 誠治

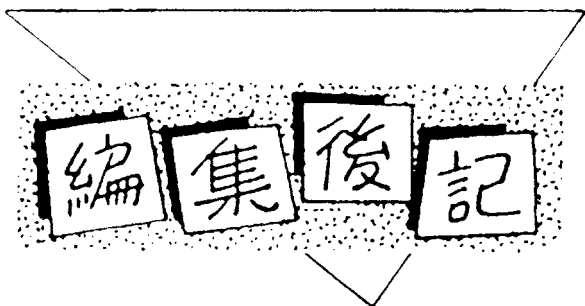


会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
日本管工業(株)大阪営業所	小野 直人	(株) 北 祥	澤村 幸雄
日本ファッション(株)大阪本店	杉本 卓	(株) 前 田 商 会	前田 隆司
日本メックス(株)関西支店	上野 晴夫	(株) マ サ キ 設 備	正木 康晴
(有) 原 設 備	原 良一	丸 住 (株)	吉田 博子
日比谷総合設備(株)関西支店	古閑 一誠	美 和 設 備 工 業 (株)	栢瀬 秀樹
(株) 一 二 三 工 業 所	一二 健夫	柳 生 設 備 (株)	福地 文雄
(株) 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	(株) 柳 澤 設 備	柳澤 満弘
不 二 熱 学 工 業 (株)	近藤 康之	山 田 工 業 (株)	中道 保信
富士古河E&C(株)西日本支社	宗清 公彦	若 林 設 備 工 業 (株)	若林 尚史

賛 助 会 員

(66社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器(株)大阪支店	加藤 淳一	(株) 大 和	岩佐 和清
アズビル(株)ビルシステムカンパニー関西支社	武田 和行	高 井 水 栓 (株)	高井 徹
アルファ・ラバル(株)大阪支社	酒井 雅史	タ カ ラ 通 商 (株)	川西 雅裕
安 藤 (株)	安藤 康雄	(株) 多 久 製 作 所 建 築 ・ 設 備 カ ン パ ニ ー 中 日 本 営 業 統 括 部	清水 正行
イシグロ(株)関西ブロック	浅利 政史	(株) タ ブ チ	小西 伸二
因幡電機産業(株)	田代 浩明	テ ラ ル (株) 大 阪 支 店	若林 聡
井下機器(株)大阪支店	川口 達也	(株) 電 巧 社 大 阪 支 店	梅田 正幸
英 和 商 工 (株)	尾名 亮三	東 西 化 学 産 業 (株) 大 阪 本 社	河野眞一郎
荏原実業(株)大阪支社	安部 奨介	東 テ ク (株) 大 阪 支 店	小山 馨
(株) 荏 原 製 作 所 西 大 阪 支 店	宮沢 一夫	T O T O (株)	吉田 伸典
(株) オ ー ケ ー エ ム 大 阪 支 店	岡崎 洋	T O T O 関 西 販 売 (株)	妹尾 昌一
オ ー ケ ー 器 材 (株)	山田 進一	東 洋 バ ル ヴ (株) 西 日 本 営 業 部	山本 育夫
(株) 大 岩 マ シ ナ リ ー 関 西 支 社	岸田 明彦	(株) ニ シ テ ッ ク ビ ル シ ス テ ム 事 業 部	藪川 洋一
(株) カ ナ デ ン 関 西 支 社	恒川 幸夫	ニ ッ ケ イ (株) 大 阪 営 業 所	田中 広
川重冷熱工業(株)西日本支社	島田 洋一	日 製 電 機 (株) 大 阪 支 社	桂井 善章
(株) 川 南 フ ァ シ リ テ ィ ズ	小南 長門	ニ ッ タ (株)	清水 孝哉
(株) 川 本 製 作 所 大 阪 支 店	三木 久雄	日 本 電 技 (株) 大 阪 支 店	大友 春久
北九州空調(株)大阪営業所	渡邊 定男	日 本 水 処 理 工 業 (株)	川西 昌史
木村工機(株)大阪営業本部	登尾 公彦	(株) 日 阪 製 作 所	三宅 規夫
協立エアテック(株)大阪支店	宮田 篤史	日 比 谷 通 商 (株) 関 西 支 店	石橋 英博
空研工業(株)大阪支店	塚本 法宏	(株) 扶 洋	横田 好明
(株) 古 島 大 阪 支 店	藤井 良夫	(株) ベ ル テ ク ノ 大 阪 支 店	松尾 英樹
(株) コ ス タ コ ー ポ レ ー シ ョ ン 本 社	逸見 克孝	北 勢 工 業 (株) 本 社 営 業 部	北山 秀晴
三和鋼管(株)大阪営業所	藤井 洋央	三 菱 電 機 冷 熱 機 器 販 売 (株) 関 西 支 社	大橋 章二
ジョンソンコントロールズ(株)大阪支店	吉田 勝彦	森 松 工 業 (株) 大 阪 支 店	堤 由 幸
新晃工業(株)大阪支社	道端 徳昭	(株) 大 和 バ ル ブ 大 阪 支 店	湯浅 雅宏
(株) 振 興 社 設 営	楠 幸隆	ヤ マ ト ヨ 産 業 (株)	豊嶋 貴嗣
新 日 本 美 風 (株)	植松 俊行	ヤ ン マ ー エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム (株) 大 阪 支 社	中村 哲也
シンワ工業(株)大阪営業所	塩月 亨	ユ ア サ 商 事 (株) 関 西 支 社	岡部 文雄
住友商事マシネックス(株)大阪オフィス	才本 幸治	(株) ユ ニ ッ ク ス 大 阪 営 業 所	川口 寛
ゼ ン シ ン (株)	吉田 晃	(株) L I X I L 関 西 支 社 ビ ル 関 西 支 店	金岡 寛之
タイヨージョイント(株)大阪営業所	池田 信一	菱 電 商 事 (株) 関 西 支 社	吉田 智昭
(株) ダイキアクシス大阪支店	野村 宗克	リ ン ナ イ (株)	児玉 宅央



○…本年も大阪電業協会との共催により新入社員教育が行われました。

毎年多くの新社会人がやってきます。みんな新たな人生の出発点に立って、個人差はありますが、期待と不安とが交錯した何ともいえない複雑な顔つきでやってきます。自分も初めて社会人になった時のことをまるで昨日のこのように思い出します。

何でも最初が肝心といいますが、全くその通りで、この新入社員教育を素直に聞いて愚直に実行する人とそうでない人の差は、後々大変大きな差になります。20年、30年過ぎたベテランと呼ばれる人でも、もう一度初心に帰り、この研修を改めて受けた方がよいと思われる人の数がなんと多いことかと、つくづく痛感します。

自分も社会人とは何か？ 仕事とは何か？ 人生とは何か？ と改めて深く考えさせられる新入社員研修会でありました。(K.K)

#### ○…働き方改革

政府の「働き方改革実現会議」で時間外等の上限を見直すべく検討されています。週休2日すら実現が難しい中で残業削減を実現することを求められています。各社悩ましい問題と思われませんが、それほど時間的猶予はありません。

製造業と同等程度の週休2日にならなければ、設備業界の管理者も作業員も担い手がいなくなるといわれます。私の時代は時間に無関係に施工図を作成したり設計見直しをしたり、それが結構、自分なりに楽しい業務でした。冷凍機などを搬入したり、ボイラーを納めて火入れ式を行い、建物の竣工式を迎えたときの達成感とその夜のビールの美味しさは何事にも代えられないものでした。

残業などを減らし休みに家族との団らんも大切ですが、物作りの楽しさも教えないと担い手が増えないのかもしれないですね。(K.S)

○…6月に、昨今ビジネスパートナーとして注目されている、ミャンマーを訪れる機会があったので、少し紹介してみたいと思います。現地には、タイのバンコクを経由して延べ7時間ぐらいの距離です。最初に、今最も賑わっているヤンゴンに向かいました。民主化以来、町は活気に満ちていて、朝夕は車が大渋滞でした。ただ市内はバイクが乗入禁止にされているため、ベトナムのように歩道にまでバイクがあふれているようなことはありません。

次に、バガンという地方都市に移動し遺跡の観光をしました。国内線の飛行機を利用しますが、小型のプロペラ機で全席早い者勝ちの自由席です。

見学する遺跡は、もっぱらパゴダと呼ばれる寺院です。平原の中に2000以上のパゴダが点在しています。車で移動するのですが、移動中に気が付いたことがありました。寺院はいっぱいあるのに、お墓は一つもありません。そこでガイドに聞いてみると、驚きの答えが返ってきました。ミャンマーにはお墓を作る習慣がないというのです。たいていは火葬にされるらしいのですが、遺骨・遺灰については庭に撒いたり川に流したり自由処分らしいのです。彼らにとって最大の願いは、死後、極楽へ行くことです。それを唯一叶えてくれるのはお釈迦様で、熱心に寺を参り、寄進も行いますが、先祖を供養するという考えはありません。同じ仏教国でありながら、文化のあまりの違いに、互いに理解しあうことの難しさを、改めて知りました。(J.N)

#### 大空衛 第81号

平成29年7月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人 大阪空調和衛生工業協会

〒541-0052

大阪市中央区安土町1丁目7番20号

新トヤマビル3階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail: osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 新阪神印刷株式会社

